

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和06年11月29日

計画の名称	相生通り周辺地区における交流とにぎわいのある都市環境の創出(期)											
計画の期間	令和04年度 ~ 令和08年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○
交付対象	広島市,広島県											
計画の目標	広島市が進める「楕円形の都心づくり」の西の核である紙屋町・八丁堀地区に位置し、業務・商業系施設が集積する都心の目抜き通りである相生通り周辺地区において、特定都市再生緊急整備地域の地域整備方針に掲げる目標の実現に向け、国内外から人や企業を惹きつける高規格オフィスやラグジュアリーホテルなど国際水準の都市機能の集積・強化を図り、国際平和文化都市にふさわしい交流とにぎわいのある都市環境を創出する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	39,296	A	39,296	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R3)	中間目標値	最終目標値 (R9)
1	基町相生通地区第一種市街地再開発事業エリアにおける事業所従業員数を9人/日(R3)から1,800人/日(R9)に増加させる。 基町相生通地区第一種市街地再開発事業エリアにおける事業所従業員数を調査する。	9人/日	人/日	1800人/日
2	基町相生通地区第一種市街地再開発事業エリアにおける宿泊客数を0人/日(R3)から200人/日(R9)に増加させる。 基町相生通地区第一種市街地再開発事業エリアにおける宿泊客数を調査する。	0人/日	人/日	200人/日
3	基町相生通地区第一種市街地再開発事業エリアにおける老朽化建築物の延床面積割合を100%(R3)から25%(R9)に減少させる。 基町相生通地区第一種市街地再開発事業エリアにおける建物登記簿等を調査する。	100%	%	25%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
「計画の期間」については、令和4年度～令和9年度の6年間の整備計画であるため、令和9年度分は入力可能となった時点(2026年12月以降)で入力する。														

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	
												R04	R05	R06	R07	R08				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	広島市	間接	個人	-	-	基町相生通地区第一種市街地再開発事業	敷地の共同化 約1.0ha	広島市						19,648	1.9	-	
	「事業実施期間」については、令和4年度～令和9年度の6年間の整備計画であるため、令和9年度分は入力可能となった時点(2026年12月以降)で入力する。																			
	A16-002	住宅	一般	広島県	間接	個人	-	-	基町相生通地区第一種市街地再開発事業	敷地の共同化 約1.0ha	広島市							19,648	1.9	-
	「事業実施期間」については、令和4年度～令和9年度の6年間の整備計画であるため、令和9年度分は入力可能となった時点(2026年12月以降)で入力する。																			
											小計						39,296			
											合計						39,296			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04	R05			
配分額 (a)	221	672			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	221	672			
前年度からの繰越額 (d)	0	212			
支払済額 (e)	9	530			
翌年度繰越額 (f)	212	354			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 相生通り周辺地区における交流とにぎわいのある都市環境の創出（ 期）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等に適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえた目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標が整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標は具体的なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容が整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業の効果が見込める。	○
III. 計画の実現可能性 民間事業者との連携、関係者の合意形成が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など事業の熟度が高い。	○

社会資本総合整備計画 参考図面

(様式第8)

計画の名称	相生通り周辺地区における交流とにぎわいのある都市環境の創出(Ⅰ期)		
計画の期間	令和4年度～令和9年度(6年間)	交付団体	広島市・広島県

